

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
日本語 I (Japanese language I)		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(留学生科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
陳順和	本館3F	水曜16:00～・金曜8:30～18:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国人留学生を対象に日本語の基礎と応用を学習する。</li> <li>2. 漢字の読み方を体系的に学習する。</li> <li>3. 日本語の読解力を高めるために新聞記事を中国語に訳す。</li> <li>4. 正しい日本語の文章が書けるようにエッセーの名文を暗記する。</li> <li>5. 中級文法を体系的に復習する。</li> </ol>				
授業の目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. もともと読めない漢字を読むことができるようにする。</li> <li>2. 日本語を書くに行き詰ることを少なくすることができるようにする。</li> <li>3. 復習によって、日本語文法をもっと確認することができるようにする。</li> <li>4. 日常生活の日本語での自己表現を自由にできるようにする。</li> </ol>				
授業の方法				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学生1年～6年の漢字ドリルで読み方を練習する。</li> <li>2. 新聞記事(振り仮名のつく文章も含む)を中国語に訳し、日本語の読解力を確める。</li> <li>3. エッセーの名文(振り仮名つき)を暗記し、正しい日本語の文章の書き方を勉強する。</li> <li>4. 「標準日本語上」(光村図書・人民教育出版社編)で日本語文法を復習する。</li> </ol>				
学習の成果(学習成果)				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自由に読み書きできる。</li> <li>2. 専攻科目のテキストの読解力を高めることができ、普段の授業をだんだんと聞き取れることができる。</li> <li>5. 日本語能力試験2級合格できる。</li> </ol>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	1 春期の授業計画を説明する。 第1課 こんにちは 新聞記事を中国語に訳す1	エッセー 勘違いはどちら 漢字の読み方(1年生)		
第2回目	2 第2課 王さんの日記 新聞記事を中国語に訳す2	エッセー 叱られる 漢字の読み方(1年生)		
第3回目	3 第3課 五目ずしの作り方 新聞記事を中国語に訳す3	エッセー 領き 漢字の読み方(2年生)		
第4回目	4 第4課 言葉使いーレストランで 新聞記事を中国語に訳す4	エッセー 物と者 漢字の読み方(2年生)		
第5回目	5 第5課 梅雨と日本の家屋 新聞記事を中国語に訳す5	エッセー 瞬時の判断力 漢字の読み方(3年生)		
第6回目	6 第6課 七夕 新聞記事を中国語に訳す6	エッセー 商品の取り寄せ 漢字の読み方(3年生)		

第7回目	7 第7課 地震の起こる日 新聞記事を中国語に訳す7	エッセー 心を通い合わせる 漢字の読み方 (4年生)	(中間テスト)
第8回目	8 第8課 数字をめぐって 新聞記事を中国語に訳す8	エッセー 周囲への配慮 漢字の読み方 (4年生)	
第9回目	9 第9課 夏休みの計画 新聞記事を中国語に訳す9	エッセー 自らを誇らず 漢字の読み方 (5年生)	
第10回目	10 第10課 上野駅で 新聞記事を中国語に訳す10	エッセー 心のアンテナを張る 漢字の読み方 (5年生)	
第11回目	11 第11課 旅と交通 新聞記事を中国語に訳す11	エッセー 昨日より今日 漢字の読み方 (5年生)	
第12回目	12 第12課 京都からの手紙 新聞記事を中国語に訳す12	エッセー まことの愛情 漢字の読み方 (6年生)	
第13回目	13 第13課 50億人目の赤ちゃん 新聞記事を中国語に訳す13	エッセー よく聞く 漢字の読み方 (6年生)	
第14回目	14 第14課 鳥になりたい 新聞記事を中国語に訳す14	エッセー 信頼が命 漢字の読み方 (6年生)	(期末テスト)
第15回目	15 春期授業の総括と作文練習		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		20%	意欲的に授業をうける。宿題をきちんとやる。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
試験		80%	教えた分をテストする。合格点数は60点。
発表内容 (態度含む)			
その他			日本語能力試験2級の合格者に加点する。
教科書と参考図書			
プリントを使用する。			
履修上の留意点・ルール			
日本語練習テープをよく聞くことを勧める。欠席・遅刻をしないこと、授業中の居眠りなどが無いこと。			